

“教育セミナー2015”（御案内）

申込方法

別添の参加申込書に必要事項を記入の上、**郵送又はFAX**で申し込んでください。（部分的な参加も可能です。）

（記入例） 記入例 1

全体会提案 (13:00~14:00)	御記入内容を希望される番号を	①
研究発表1 (14:10~15:00)		③
研究発表2 (15:10~16:00)		⑬

記入例 2 （部分的な参加の場合）

全体会提案 (13:00~14:00)	御記入内容を希望される番号を	①
研究発表1 (14:10~15:00)		⑥
研究発表2 (15:10~16:00)		

参加されない部分は、空欄で構いません。

申込先

奈良県立教育研究所“教育セミナー2015”係

〒636-0343

奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1

FAX 0744 - 33 - 8909



問い合わせ先

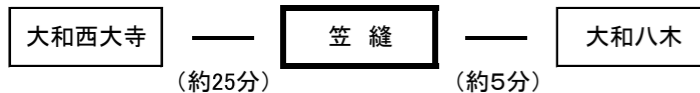
奈良県立教育研究所 教科教育係

TEL 0744 - 33 - 8903

会場への案内

近鉄橿原線笠縫駅から南西へ約0.6km（右図参照）

※ 公共交通機関をご利用ください。



- 日時 平成27年5月29日(金) 13:00 ~ 16:00(受付12:30~)
- 場所 奈良県立教育研究所
奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1
- 対象 教育関係者及び教育に関心のある方
- 日程

明日からの指導のヒントとなる数々の報告を是非ともお聞きください。

12:30	13:00	13:10	14:00	14:10	15:00	15:10	16:00	16:45
受付	開会式	全体会	移動・休憩	研究発表1	移動・休憩	研究発表2	館内開放	
		提案 「ITCを活用した授業づくり」		プロジェクト研究発表		個人研究発表	“未来の先生”との語り	
				調査・研究等の報告			さまざまな体験ブース	
							パネル等の展示	
パネル展示・教材展示(研究成果及び各種紹介パネル、ICT機器、実験器具、新教材等)								

教育セミナー2015 発表内容一覧

13:00~14:00 全体会	14:10~15:00 研究発表1	15:10~16:00 研究発表2	~16:45頃まで 放課後館内開放		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">① 提案</p> <p>指定研究員の実践例や、へき地教育におけるテレビ会議システムの活用例を紹介しながら、参加者と共にICTを活用した授業づくりについて考えていきます。</p> </div>	個人研究 ② 学校事務における組織マネジメントに関する一事例—教員との協働による「学校徴収金」の取組から— 組織マネジメントの手法を活用した「学校徴収金」に対する取組を通して、事務の効率化や教職員のOJTが進んだことについて報告します。 ③ 幼児の望ましい生活習慣の確立を目指して 「睡眠・朝食・排便」改善プログラムを通して、幼児の生活習慣を改善するための取組とその成果について報告します。	個人研究 ⑪ 生徒の走能力向上を目指した指導法の研究—短距離走におけるクラウチングスタートの指導を通して— 生徒の走能力の向上を目指して、クラウチングスタートの技能が獲得できる指導に取り組んだ実践及び成果を報告します。 ⑫ 人権が尊重される学習活動の在り方 単位制高校における生徒のクラスへの帰属感を高め、コミュニケーション能力の向上を目指す人権教育の実践について報告します。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">要チェック</p> <p>セミナー終了後も、放課後メニューとして、下記のコーナーを準備しています。ふるって、御参加ください。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">“未来の先生”との語り合いコーナー</p> <p>教員になることを志望する学生とともに、明日の教育について、カフェ形式で語り合います。</p> </div>		
	長期研修員報告 ④ 保護者・地域住民との連携・協働による児童への効果的な学習支援の在り方—児童の学ぶ意欲の向上を目指した取組を通して— 小学校3年生の総合的な学習の時間を中心とした、保護者等の学習参加や地域の人材活用による学習支援プログラムの開発と実践について、その概要と成果を報告します。 ⑤ 中学生の英語を読む量を増やす工夫—Narrow Readingの理論を生かした読み物教材の開発— 県内の中学生が自ら読み進めて英語を読む力を高めることができるように、Narrow Readingの理論を生かした読み物教材の開発を行いました。その読み物教材と教材づくりの取組を報告します。 ⑥ 高校生の情報モラルの醸成を目指したデジタル教材の開発 高校生の情報教育を向上させるためには、情報技術だけではなく、情報モラルの醸成を目指すことが重要です。そこで、体験を通して情報モラルを高めることができるデジタル教材を開発したことについて報告します。	長期研修員報告 ⑬ 高校生の不登校予防のための研究—自尊感情を高めるプログラムの検討から— 高校生を対象に行った意識調査から、社会的スキルの高まりが自尊感情を醸成し、登校回避感情の抑制に影響することが分かりました。その結果を踏まえ、不登校予防のための自尊感情を高めるプログラムを提案します。 ⑭ 若手教員の教育実践上の困難性を克服する上で有効なOJTの在り方 若手教員とベテラン教員との間にある意識や考え方のズレを埋めるためのモデルプランを実施しました。その検証結果を基に、若手教員の教育実践上の困難性を克服する有効なOJTの在り方についての考察を報告します。 ⑮ 高等学校家庭科における消費者教育の効果的な学習指導の在り方—中学校技術・家庭科との系統性を視野に入れた工夫の実践— 高等学校家庭科における消費者教育について、中学校・高等学校家庭科担当教員と生徒を対象に実施した調査を基に、中学校技術・家庭科との系統性を視野に入れた学習指導の在り方についての考察を報告します。			
	調査・研究報告 ⑦ 素材を教材に変える体育授業の作り方と体力向上に向けた取組について（体力向上推進コーディネーターによる発表） 子どもが夢中になって運動に取り組む体育の授業づくりの工夫や、子どもの体力向上に向けて学校全体で取り組むための効果的な手立てを紹介します。 ⑧ 奈良県の小学校教員の理科教育に関する意識について—小学校教員の理科教育に関するアンケートの集計結果から— 奈良県小学校理科教育研究会の協力を得て実施した「小学校教員の理科教育に関するアンケート」の集計結果とその考察を報告します。 ⑨ ICTを用いた理科教材開発（奈良教育大学による発表） iPad、インターバルカメラ、デジタル教科書などを用いた小学校、中学校理科における教材開発の事例を紹介します。授業場面を想定した活用方法についても具体的に提案します。 ⑩ 教育に新聞を（奈良県NIE推進協議会による発表） NIE（Newspaper In Education）は学校教育で新聞を教材として活用する活動です。NIEの活動や、ICTを活用した県内の学校などの実際の取組を紹介します。	調査・研究報告 ⑯ 自ら考えようとする気持ちが育つようにするための環境の構成や教員の関わりについて（幼稚園教育研究部会による発表） 平成26年度幼稚園教育理解推進事業（奈良県協議会）の協議主題に基づいて取り組んだ実践について報告します。 ⑰ 平成26年度幼稚園教育理解推進事業（奈良県協議会）の協議主題に基づいて取り組んだ実践について報告します。 ⑱ 大学と現場の先生方との共同研究（畿央大学現代教育研究所による発表） 研究テーマ「教師としての資質能力を育成する」を実現すべく、現代教育研究所スタッフが現場の先生方と取り組んでいる共同研究や大学と現場とのつながり方の研究、また現場の先生方に向けて行っているワークショップや学習会など、研究所の多様な活動を発表します。			
	2コマを通した発表（14:10 ~ 16:00）※前半・後半のみの参加も可能です。				
	プロジェクト研究 ⑲ プロジェクト1:協働型・双方向型の授業の在り方を研究する。—言語活動の充実1(小学校図画工作・国語)— 奈良県における言語活動の実施状況の改善に資するため、協働的・双方向的な学びを取り入れた、小学校の授業の在り方について実践と成果を報告します。 ⑳ プロジェクト1:協働型・双方向型の授業の在り方を研究する。—言語活動の充実2(中学校社会・英語・高等学校理科)— 奈良県における言語活動の実施状況の改善に資するため、協働的・双方向的な学びを取り入れた、中学校・高等学校の授業の在り方について実践と成果を報告します。 ㉑ プロジェクト1:協働型・双方向型の授業の在り方を研究する。—ICTの活用— 奈良県におけるICTの活用状況の改善に資するため、ICTを活用した、協働的・双方向的な学びを取り入れた授業から、汎用性の高い授業モデルを提示します。 ㉒ プロジェクト2:小学校における教育相談体制づくり—ファーストステージ/実態把握— 小学校における有用な教育相談体制の在り方を研究するため、県内公立小学校203校を対象にアンケート調査を実施しました。その結果から明らかになった課題を踏まえて、今後取り組む具体的な方向性について報告します。 ㉓ プロジェクト3:将来を見据え、意欲的に取り組む姿を目指した授業づくり—特別支援教育におけるキャリア教育の視点を取り入れて— キャリア教育の視点を取り入れた授業づくりに取り組むことで、児童生徒の自ら学ぼうとする意欲や主体性が育まれた特別支援学校3校の実践と成果を報告します。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">教材体験</p> <p>新しい教材や機器、デジタル教材など、初歩的な使い方から授業での活用の仕方にとりまわって、実際に実物に触れながら、体感できます。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">パネル等の展示</p> <p>館内には、明日からの指導のヒントにしたいだけ、教育研究所の研究成果や奈良県教育委員会各課・室の取組をまとめたパネル等を展示しています。</p> </div>			

参加の申込みについて

- 参加申込みの際には、参加を希望される発表内容の枠内に記されている①~③の番号を、別添の参加申込書に御記入ください。（部分的な参加も可能です。）
- 日程、内容等に変更があった場合は、奈良県立教育研究所のWebページにてお知らせします。また、当日、気象警報が発令された際は、中止とさせていただきます。参加の前には御確認ください。

県立教育研究所のWebページ
<http://www.nps.ed.jp/nara-c/>

申込み締切
 平成27年5月22日（金）

平成27年度奈良県立教育研究所“教育セミナー2015”

参加申込書

平成27年 月 日

奈良県立教育研究所長 殿

教職員	所 属 所属長名 T E L	(- -)	公印
	一 般	住 所 T E L F A X	

- ※ 同じ所属であれば、この用紙で4名まで申し込むことができます。
- ※ 部分的な参加も可能です。参加を希望される時間帯の枠内に、番号をお書きください。
- ※ 10年経験者研修で参加される方は、枠に○印をつけてください。

参加者氏名		
10年経験者研修参加者 (○印を御記入ください→)		
全体会提案 (13:00~14:00)	参加を希望される 発表内容の番号を 御記入ください。	
研究発表1 (14:10~15:00)		
研究発表2 (15:10~16:00)		

参加者氏名		
10年経験者研修参加者 (○印を御記入ください→)		
全体会提案 (13:00~14:00)	参加を希望される 発表内容の番号を 御記入ください。	
研究発表1 (14:10~15:00)		
研究発表2 (15:10~16:00)		

参加者氏名		
10年経験者研修参加者 (○印を御記入ください→)		
全体会提案 (13:00~14:00)	参加を希望される 発表内容の番号を 御記入ください。	
研究発表1 (14:10~15:00)		
研究発表2 (15:10~16:00)		

参加者氏名		
10年経験者研修参加者 (○印を御記入ください→)		
全体会提案 (13:00~14:00)	参加を希望される 発表内容の番号を 御記入ください。	
研究発表1 (14:10~15:00)		
研究発表2 (15:10~16:00)		